

各位

上場会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
コード番号 6466
上場取引所 大証・東証各市場第2部
本社所在地 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
問い合わせ先 経理部長 飯田 明彦
TEL 06(6416)1157

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年12月13日に公表した平成24年9月期の連結業績予想（平成23年10月1日～平成24年9月30日）を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

金額単位：百万円

平成24年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	5,400	490	505	177	円 銭 72.77
今回修正予想 (B)	4,930	530	521	▲ 82	▲ 35.35
増減額 (B-A)	▲ 470	40	16	▲ 259	-
増減率 (%)	-8.7%	8.2%	3.2%	-	-
(ご参考) 前期実績第2四半期実績 (平成23年9月期第2四半期)	5,297	511	522	265	107.31

修正の理由

当社グループは、原子力・火力発電所向けバルブの製造とメンテナンスを中心とした事業を展開しておりますが、昨年の東日本大震災の津波により発生した東京電力福島第一原子力発電所事故以降、定期点検で停止した国内原子力発電所の運転が再開されない状況が続いており、原子力発電所向け売上が65%前後である当社の業績見通しも極めて不透明な状況であることから、当期(第13期)の各四半期決算における繰延税金資産の取扱いについては、その状況を見ながら慎重に検討することといたしました。

当第2四半期決算にあたり、今後の原子力発電所再開の見通しと、それに関連した当下半期以降の業績について検討した結果、現時点においては、来期(第14期)の収益確保が可能であるとの確実な見通しを得ることは困難であり、当第2四半期時点の将来減算一時差異は従来同様に繰延税金資産を認識することも困難であるとの結論に至りました。

この結果、当第2四半期業績は、売上高は納期ズシなどにより想定を下回るものの、営業利益、経常利益はそれぞれ想定以上となる見通しですが、四半期純利益については、繰延税金資産の期首残高合計10億46百万円に対して、当第2四半期末の計上額は5億24百万円に留まったため、5億円を法人税等調整額に計上することとなり、82百万円の四半期純損失の見込みとなりました。

通期連結業績の見通しは、下半期の売上対象案件は概ね受注済みであることから売上高はほぼ達成可能であると想定しており、あとは原発の再稼働による操業度ほか諸々の影響が、下半期の売上原価の増減に与える影響次第であると考えております。

また、税効果会計(繰延税金資産計上)の方針についても、原発の運転再開の状況によって大きく異なってくることから、現時点では、未だ具体的に方針を判断するに至っておりません。

以上の理由から、現時点では従来の想定を変更いたしません。これまでにご説明して参りましたとおり極めて不確定要素が多く、大幅な業績変動の可能性もあり得ることから、状況が確定次第、適宜に情報を開示していくことで対応していきたいと考えております。

※本資料の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上